

## スタンダードチャータードPLC－2025年度上半期および第2四半期の業績

別段の注記がない限り、すべての数字は特別要因調整後ベースで表示されており、比較の対象は2024年度で報告通貨ベースとしています。特別要因調整後の業績に含まれていない「再編関連コスト」および「その他」の項目の内容は、以下に記載しています。

ビル・ウィンターズグループ最高経営責任者は次のようにコメントしました。

「2025年上半期の好業績は、クロスボーダーおよび富裕層向けバンキングへの注力を通じて、当行グループの戦略の継続的な成功を反映しています。第2四半期は、純資金流入が過去最高となり、またウェルスソリューション、グローバルマーケット、グローバルバンキングで2桁の増益となりました。当行グループは、アジア、アフリカ、中東に広がる独自ネットワークを通じて、変動の激しい外部環境に対応できるようお客様をサポートしています。一方でコスト、信用リスク、資本を厳格に管理し、好調な業績を維持しています。その結果、上半期の1株当たり利益は41%増加し、さらに13億ドルの追加の自社株買いも発表しました。」

### 25年度第2四半期の業績の概要（別段の注記がない限り、比較の対象は24年度第2四半期）

- 営業収益は為替変動の影響を除いたベースでは14%増収の55億ドル、非経常的な項目<sup>1</sup>を除くと15%の増収となりました。
  - Solv IndiaのJumbotailへの売却による2億3,800万ドルの利益を除くと、為替変動の影響を除いたベースで10%の増収となりました。
  - 純金利収入（NII）は為替変動の影響を除いたベースでほぼ横ばいの27億ドルとなりました。
  - 非純金利収入は為替変動の影響を除いたベースで31%増の28億ドル、非経常的な項目を除くと33%増となりました。
  - ウェルスソリューションは為替変動の影響を除いたベースで20%の増収となり、インベストメントプロダクツとバンカシユアランスはともに2桁の増収を達成しました。
  - グローバルマーケットは、フロー収益と一時的な収益がともに好調で、為替変動の影響を除いたベースで47%の増収となりました。
  - グローバルバンキングは、組成額および販売額の増加ならびにキャピタルマーケットの業務拡大により、為替変動の影響を除いたベースで12%の増収となりました。
- 営業費用は、効率性の向上で一部相殺されたものの、事業成長に向けた対象を絞った投資、およびインフレにより、為替変動の影響を除いたベースで3%増の30億ドルとなりました。
- 信用減損は1億1,700万ドルとなりました。ウェルス&リテールバンキング（WRB）では一部の無担保ポートフォリオの減少により前四半期比減、前年同期比増の1億5,300万ドルとなりましたが、コーポレート&インベストメントバンキング（CIB）で4,400万ドル取崩されたことで一部相殺されました。
  - 信用損失率は12ペーシスポイント（bp）となりました。
- 為替変動の影響を除いたベースでの特別要因調整後の税引前利益は34%増益の24億ドル、報告ベースの税引前利益は48%増益の23億ドルとなりました。
- 再編関連コストおよびその他のコストは1億2,300万ドルで、フィット・フォー・グロース・プログラムに関連する8,700万ドルのコストが含まれます。
- 当行グループのバランスシートは引き続き健全で流動性が高く、十分に分散されています。
  - 顧客向け融資残高は2,870億ドルで、25年3月31日から2%増加し、為替、およびトレジャリーとグローバルマーケットの証券担保貸付業務の特別要因調整後では10億ドル増加しました。
  - 顧客預金の残高は25年3月31日から5%増の5,170億ドル、為替変動の影響を除いたベースで4%の増加となりました。CIBおよびWRBの当座／貯蓄預金とWRBの定期預金が伸びました。
- リスク・アセット（RWA）は25年3月31日から60億ドル増の2,600億ドルとなりました。
  - 信用リスク・アセットは71億ドル増加しました。最適化の取組みなどにより一部相殺されましたが、為替取引、資産の増加および構成、ソブリン格付けの引き下げが原動力となりました。市場リスク・アセットは10億ドル減少しました。
- 当行グループは引き続き盤石な自己資本を有しています。
  - 普通株式等Tier1（CET1）比率（%）は14.3%（25年3月31日時点では13.8%）となりました。
  - 近く開始される13億ドル相当の自社株買いにより、CET1比率は約50bp低下すると予想されます。
  - 中間普通配当は37%引き上げられ、1株当たり12.3セントとなりました（総額で2億8,800万ドル）。
  - 1株当たり純有形資産額は前四半期比119セント増加して16.80ドルとなりました。
- 有形株主資本利益率（RoTE）は、7bp上昇して19.7%になっています。

1 非経常的な項目は、ガーナのハイパーインフレーションとエジプトの為替ポジションの再評価に関連しています。

【本資料は、2025年7月31日付で発表された Standard Chartered PLC - Half Year Results 2025（一部抜粋）の日本語参考訳です。】

## 25年度上半期の業績の概要（別段の注記がない限り、比較の対象は24年度上半期）

- 特別要因調整後ベースの1株当たり利益（EPS）は40.7セント（41%）増加して139.2セント、報告ベースのEPSは45.8セント（55%）増加して129.1セントになりました。
- 営業収益は9%増収の109億ドル、為替変動の影響を除いたベースでは10%の増収、非経常的な項目を除くと13%の増収となりました。
  - 純金利収入は為替変動の影響を除いたベースで4%増の55億ドルになりました。非純金利収入は為替変動の影響を除いたベースで18%増の54億ドル、非経常的な項目を除くと25%増となりました。
  - ウェルスソリューションは為替変動の影響を除いたベースで24%の増収となり、とりわけキャピタルマーケット商品が大幅に伸びました。
  - グローバルバンキングは、組成額および販売額の増加が収益を押し上げ、為替変動の影響を除いたベースで14%の増収となりました。
  - グローバルマーケットスは、一時的な収益が50%の増収、フロー収益が19%の増収となり、為替変動の影響を除いたベースで28%の増収となりました。
- 営業費用は5%増の60億ドル、為替変動の影響を除いたベースで4%増となりました。
- 信用減損コストは3億3,600万ドルで、WRBでは3億3,200万ドルでした。
- 為替変動の影響を除いたベースでの特別要因調整後の税引前利益は22%増益の47億ドル、報告ベースの税引前利益は30%増益の44億ドルとなりました。
- 税金は11億ドル、特別要因調整後の実効税率は23.7%となりました。
- 有形株主資本利益率（RoTE）は、4bp上昇して18.1%となりました。

## ガイダンス

### 2025年度および2026年度のガイダンス

- 収益：
  - 営業収益は為替変動の影響を除いたベースで、預金保険料の振替を除くと、2023年度から2026年度までに年平均成長率5～7%の増収が予想され、当該範囲の上限に届く見込みです。
  - 2025年度の成長率は、為替変動の影響を除いたベースで、非経常的な項目を除くと、5～7%の範囲の下限前後になると予想されます。
- 費用：
  - 2026年度の営業費用は、英国銀行税と預金保険料の振替の継続的な影響を含んでおり、為替変動の影響を除いたベースで、123億ドル<sup>1</sup>を下回ると予想します。
  - 費用は約15億ドル削減され、フィット・フォー・グロス・プログラムによる費用削減は15億ドル未満になる見通しです。
  - 各年度の費用に対する収益の伸び率は、非経常的な項目を除くと、為替変動の影響を除いたベースで改善すると予想します。
- 資産およびリスク・アセット：
  - 顧客向け融資残高とリスク・アセットの増加率は1桁台前半になると予想します。
  - バーゼル3.1基準によるリスク・アセットへの影響はほぼないと予想しています。
  - 貸倒率はスルー・ザ・サイクル（through-the-cycle）で30～35bpの範囲に正常化するとの予想を継続します。
- 資本：
  - CET1比率は13～14%の目標範囲内を引き続き維持します。
  - 2024年度から2026年度にかけて、株主還元額は累計で80億ドル以上となる予定です。
  - 1株当たり年間配当額を継続的に増やします。
- 有形株主資本利益率（RoTE）は2026年度に13%に近づき、以後も上昇すると予想します。

1 為替の影響により、現在は124億ドルと予想しています。

【本資料は、2025 年 7 月 31 日付で発表された Standard Chartered PLC - Half Year Results 2025（一部抜粋）の日本語参考訳です。】

他の通貨を指すと明記されている場合を除き、本資料内の「ドル」という語または「\$」の記号は米国ドルを指し、「セント」という語または「c」の記号は 1 ドルの 1/100 を意味します。

本資料内で文脈上別段の解釈が必要な場合を除き、「中国」は中華人民共和国を指し、本資料においてのみ、香港特別行政区（香港）、マカオ特別行政区（マカオ）および台湾は含まれません。「韓国」は大韓民国を指します。

本資料内の表において、空欄は数値が開示されていないこと、ダッシュは数値がゼロであること、「nm」は数値が僅少であることを示します。

スタンダードチャータード PLC はイングランドおよびウェールズにおいて設立された有限責任会社であり、ロンドンに本社を置きます。当行グループの本社は、ガバナンスおよび規制基準に関する助言を提供しています。スタンダードチャータード PLC の株式の銘柄コードは、HKSE 02888 および LSE STAN.LN です。

【参考訳に関するご留意事項】 この資料は、スタンダードチャータード銀行東京支店（以下、「当行」と言います。）が、お客様の便宜のために、英語その他の言語の情報を日本語に翻訳し、提供させていただいております。従いまして、当行は、この資料に記載された情報につきまして、独自の検証を行っておりません。専門用語のみならず、翻訳の正確性も保証しておりません。英文資料が正文であり、英文資料と翻訳との間で齟齬がある場合には、英文資料が全てにおいて優先します。

損益計算書

|                                | 25年度上半期<br>(百万ドル)  | 24年度上半期<br>(百万ドル)  | 増減<br>%   |
|--------------------------------|--------------------|--------------------|-----------|
| 特別要因調整後ベースの業績                  |                    |                    |           |
| 営業収益                           | 10,899             | 9,958              | 9         |
| 営業費用                           | (5,965)            | (5,673)            | (5)       |
| 信用減損                           | (336)              | (249)              | (35)      |
| その他減損費用                        | (9)                | (143)              | 94        |
| 関連会社利益                         | 91                 | 64                 | 42        |
| 税引前利益                          | 4,680              | 3,957              | 18        |
| 普通株主に帰すべき利益 <sup>2</sup>       | 3,307              | 2,567              | 29        |
| 普通株主有形資本利益率（%）                 | 18.1               | 14.0               | 410bps    |
| 費用収益比率（%）                      | 54.7               | 57.0               | 230bps    |
| 報告ベースの業績                       |                    |                    |           |
| 営業収益                           | 10,906             | 9,791              | 11        |
| 営業費用                           | (6,247)            | (6,056)            | (3)       |
| 信用減損                           | (336)              | (240)              | (40)      |
| のれんおよびその他の減損                   | (19)               | (147)              | 87        |
| 関連会社利益                         | 79                 | 144                | (45)      |
| 税引前利益                          | 4,383              | 3,492              | 26        |
| 税金                             | (1,057)            | (1,123)            | 6         |
| 当期利益                           | 3,326              | 2,369              | 40        |
| 親会社株主に帰すべき利益                   | 3,309              | 2,378              | 39        |
| 普通株主に帰すべき利益 <sup>2</sup>       | 3,065              | 2,169              | 41        |
| 普通株主有形資本利益率（%）                 | 16.4               | 11.9               | 450bps    |
| 費用収益比率（%）                      | 57.3               | 61.9               | 460bps    |
| 純資金利ざや（%）（調整後） <sup>6, 9</sup> | 2.05               | 1.98               | 7bps      |
|                                | 30.06.25<br>(百万ドル) | 31.12.24<br>(百万ドル) | 増減<br>%   |
| バランスシートと資本                     |                    |                    |           |
| 総資産                            | 913,936            | 849,688            | 8         |
| 総資本                            | 54,670             | 51,284             | 7         |
| 普通株主に帰すべき平均有形株主資本 <sup>2</sup> | 37,676             | 36,876             | 2         |
| 顧客向け融資残高                       | 286,731            | 281,032            | 2         |
| 顧客口座                           | 517,390            | 464,489            | 11        |
| リスク・アセット                       | 259,684            | 247,065            | 5         |
| 総自己資本                          | 53,281             | 53,091             | —         |
| 総自己資本比率（%）                     | 20.5               | 21.5               | (97) bps  |
| 普通株式等Tier 1                    | 37,260             | 35,190             | 6         |
| 普通株式等Tier 1比率（%）               | 14.3               | 14.2               | 11bps     |
| 預貸率（%） <sup>3</sup>            | 51.0               | 53.3               | (230) bps |
| 流動性カバレッジ率（%）                   | 146                | 138                | 830bps    |
| 英国基準のレバレッジ率（%）                 | 4.7                | 4.8                | (11) bps  |
|                                | 30.06.25           | 30.06.24           | 増減        |
| 普通株式1株当たりの情報 <sup>1</sup>      |                    |                    |           |
| 1株当たり利益 <sup>4</sup>           | 139.2              | 98.5               | 40.7      |
| — 特別要因調整後ベース（セント）              |                    |                    |           |
| — 報告ベース（セント）                   | 129.1              | 83.3               | 45.8      |
| 1株当たり純資産額 <sup>5</sup> （セント）   | 1,941              | 1,683              | 258       |
| 1株当たり純有形資産額 <sup>5</sup> （セント） | 1,680              | 1,444              | 236       |
| 期末時点の普通株式数（百万株）                | 2,330              | 2,550              | (9)       |

1 資産、負債、リスク・アセット以外については、「増減」は改善/（悪化）を示します。総自己資本比率（%）、普通株式等Tier 1比率（%）、純資金利ざや（%）、預貸率（%）、流動性カバレッジ率（%）、レバレッジ率（%）、費用収益比率（%）、普通株主有形資本利益率（%）については、増減は増減率ではなく、二時点間のパーセンテージ・ポイントの差で示されています。

2 「普通株主に帰すべき利益（損失）」は、非累積償還優先株、および株式に分類されるその他Tier1（AT1）資本証券の保有者に対する支払配当を控除した後の数値です。

3 本比率の算出にあたっては、「顧客向け融資残高」の総額には、リバース・レボ契約等担保付貸出金、およびストレス時に返済可能と確認された、中央銀行に保有された承認済みの残高を含んでおらず、一方で、「損益を通じて公正価値（FVTPL）で保有される顧客向け融資残高」を含んでいます。総顧客口座数は、FVTPLで保有される顧客口座を含んでいます。

4 特別要因調整後ベースまたは報告ベースの利益を基本的加重平均株式数で割った数値です。業績は報告対象期間終了までの6か月間のものです。

5 期末時点の純資産額、純有形資産額および株式数により算出した数値です。

6 「純資金利ざや」は調整後の純金利収入を平均利付資産額で割り、年率換算した数値です。

7 本中間財務報告書における「報告ベースの業績」とは、英国において採用されている国際会計基準および国際財務報告基準に基づいて報告される金額を意味します。

8 1株当たり利益、1株当たり純資産額、1株当たり純有形資産額については、増減は二期間のセントの差で示されています。期末時点の普通株式数は二期間のパーセンテージの差で示されています。

9 純金利収入は資金調達コストの不一致額の新純金利収入への振替を反映するため、2025年4月2日に発表された「財務情報の再表示に関する規制ニュースサービス（RNS on Re-Presentation of Financial Information）」にしたがって再表示されています。